

スペイン 15M : 経済危機の下で「怒れる者たち」が創る市民運動

●スペイン経済の今

11月発表 失業率 26.6% (15~24歳の若者失業率は約 56.5%)

↓ *海外移住者 前年比 21.6%増 (ex. 独へ 5万人)

失業者 約 600万人 → 170万世帯以上が家族全員失業者

*経済危機により 320万人以上が職を奪われた → マドリード市の人口とほぼ同じ

●なぜこれほど深刻な経済危機状態に陥ったのか？

- ・不動産バブル burbuja inmobiliaria

-1999年からの通貨統合 海外・BCEからの低金利貸付

-住宅建設ラッシュ *ほかの産業への投資、成長が少ない。

-2008年 世界金融危機 → 住宅 100万軒近く売れ残り

- ・住宅建設規制緩和政策 (1996) ← ロドリゴ・ラト経済財政大臣 (Bankia 前総裁)

- ・各自治州の財政赤字 *「レンガへの投資」やりすぎ

●危機への政府の対応は？

緊縮政策 (política de austeridad) & 銀行救済 → ECE や EU に約 10億円の支援を要請

↓

教育費、医療保健・福祉費カット 労働法改正、公務員給与カット

→ 教員削減、国公立大学学費値上げ、

外国人の医療の有料化と病院・スタッフ・診察時間の削減

法人税・固定資産税・付加価値税等アップ 介護保険適応基準が厳しくなる etc.

●市民は立ち上がった 「15M 運動 (5月15日運動)」

それでも何とか生きてきたが (安価な食料、家族の絆、失業手当や生活保護の利用)

マドリードでは昨年、3419のデモが行われた (1日約10件)。

- ・きっかけは? **2011.5.15** Democracia Real Ya ら若者中心のデモから集会へ

- ・各地域への波及 TomalosBarrios

Asamblea general Asamblea local -grupos de trabajo -comisiones

- ・複数の asambleas locales の共同行動・プロジェクト

ex. Mercadillos, TomalaTele, periodico Madrid15M

- ・複数の都市の 15M の共同行動

12M-15M del 2012 TomalasCalles

- ・ネットを利用した活動 ex. Flamenco en Bankia

●住宅ローン未払いによる強制立ち退き反対運動 Stop desahucios

毎日 500 件以上の強制立ち退きが起きている。

- ・立ち退き被害者の半数以上は移民 *エクアドル移民の組織
- ・市民組織 →立ち退き回避と責任財産限定型ローンの法制化を要求

●2013 年のスペイン

市民の心配事・・・社会調査センター (CIS) のアンケート調査結果

Q：今最も深刻な問題だと思うことは？

A：	1	失業	77.1%
	2	経済問題	39.5%
	3	政治家、政党、政治全般	29.8%
	4	汚職と不正	19.2%
	5	保健医療	12.9%
	6	教育	7.6%
	7	銀行	7.0%

★新たな動き

“Partido X (X党)” の誕生・・・「未来の政党 partido del futuro」 “
スローガン

“ Lo primero que hay que hacer para salir del pozo es dejar de cavar. “

(直訳/井戸・穴から抜け出すためにまずやるべきことは、掘るのをやめることだ。)

常軌を逸した試みこそが、歴史を変える、という心意気で、インターネットにおける自由な文化の創造を支持する人々や 15M の支持者がつくった。

- ・具体的な活動は、市民から意見を募集して作成 (~2/10 募集、3 月上旬に発表)
- ・選挙に出馬することになるまでは、スポークスパーソンを含め、メンバーは匿名。
- ・政治プログラム「ズバリ民主主義」・・・市民が立法・行政に直接関わる、真の民主主義を実現するためのメカニズムを築く。

1 国民投票 (拘束力のある提案をする力、廃止する力、承認する力を持つ投票)

2 WikiGobierno (市民と政府が共同&公開で立法)

ex. Marco Civil de Internet (Brazil) →サイトで市民が法律を修正する。

Gabinete Digital (Rio Grande do Sul, Brazil) →サイトを通して市民が政策改善を提案し、それについて投票を行い、賛成多数なら実施。

Better Iceland-Better Reykjavik (Reykjavik, Iceland) →市民から集めた 100 のアイデアでマニフェストをつくった Best Party が首都行政を担当。

3 日常のかつ真の投票をする権利

ネットと、市役所や郵便局などの「常設投票所」で、あらゆる法律、予算案について、投票する権利を保障する。

*スペインの議員数 350 人 → もし 3500 万人がノーに投票した
スペインの有権者数 3500 万人 なら、イコール「ノー」

4 公的行政機関の透明性確保（汚職を回避）

行政機関が決める政策や予算は、市民に公表されることなく実施することができないようにする。

●若者よ、市民よ 憤慨せよ！ ¡Indignaos! そして創造せよ！

現実と向き合う姿勢 怒りの持続 楽しむ精神 新たな繋がり創造
持続可能な「脱成長」社会への意欲・・・地域とその *asamblea* から始まる革命

ex. 時の銀行 *banco de tiempo*